

大自然の中で川遊び

第4回

甲川溪流まつり

8月6日(日) 甲川上流のうぐいす橋下手で、中山まちづくり実行委員会主催の「第4回甲川溪流まつり」が開かれました。

当日は、町内外から約150人の親子連れが参加し、ひんやりとした空気の漂う溪流のほとりて自然を満喫。はじめに川の上流を探検した後、川に放流されたヤマメを年齢別に捕まえ、その大きさを競う、魚のつかみ取り大会が行われ、子どもたちが歓声をあげて魚を追いかけました。魚はその場で計測され、一番大きな32センチの魚を捕まえた、岡田翔くん(中高三区・5才)が、大物賞に輝きました。



つかまえた!と思ったら逃げられたり・・・

た、夏の風物詩のそうめん流しを行うなど、夏休みの思い出の1ページに刻まれる一日となりました。

地域の防災力アップをめざして

ひかりが丘初 夜間消防演習

8月20日(日)ひかりが丘(湊勝利区長)が、大山町消防団名和分団と合同で初めての実践型夜間消防演習を行いました。

ひかりが丘は平成8年に分譲が始まり、現在68世帯、202人が住む地区。6年前の住宅火災の際、近くの消火栓にホースがなく、消火活動が遅れた経験から、地区で消防訓練に力を注いできました。

午後7時45分、発炎筒をたき、119番に通報。区の有線放送で火災発生を伝え、消火栓での初期消火を開始。消防団のポンプ車が到着し、今年設置した防火水槽を使って、放水開始・・・と手際よく演習が行われました。

湊区長は、「初めての夜間演習で、ホースのつなぎ目が見えにくく、昼の訓練より多少時間がかかった。住民には時間を知らせていなかったのが、思ったより参加人数が少なかったが、実際の火事のときを想定でき、よい訓練になった」と演習をふり返っていました。

た。年内に自主防災組織を立ち上げ、より充実した防災活動をしたとのことです。



真剣に消火活動をするひかりが丘のみなさん